

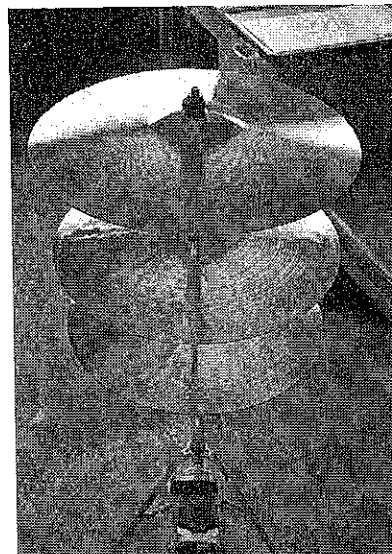
銅合金鑄造メーカーの大和合金(本社・東京都板橋区、社長・萩野茂雄氏)はこのほど、シンバル向け銅合金の研究開発を始めた。国内唯一のシンバルメーカーである小出製作所からの投げ掛

大和合金

けに応じたもの。歩留まりと加工性をアップさせつつ、聞く人の耳を楽しませる音色を目指している。

一般的なシンバル向けの銅合金は銅に20%の錫を添加した青銅、通称

「シンバル」向け銅合金開発へ



音色と加工性の良さを両立

「ミュージック・アロイ」より良い合金材料の開発。現在はトルコが発に向けて、多品種少量の輸入材が中心。新材の合金素材に強みのある料では効率よく延ばせる大和合金はベリリウム銅加工性や、品質の安定性を求めている。

とアルミ青銅合金でサンプル品を試作し写真。東

京電機大学で振動・音響工学を専門とする佐藤太一教授らのグループに分析を委託している。同大では音色の振動数や波長などを評価する。8月末には試作品第1号が大和合金から同大学に届けられた。

シンバルは大型のもの

で、直径50

〜60センチまで

サイズがあ

り、1ミ

リ厚まで加工する

ことが現時点の目標。今

後は鍛造以外の手法も選

択肢に入れて試行錯誤を

重ねる。